

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		環境測定				所管	環境清掃部		
							環境課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	243	計画事業名	環境測定		事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現					[事業開始] 昭和44年度		
		[施策] 53 花とみどりを活かした潤いのある環境づくり					[終了予定] - 年度		
	根拠法令等	その他		[法令等名]	環境基本法、大気汚染防止法、騒音規制法、振動規制法等				
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	国や東京都と連携して、区内の大気の状態などを監視することで実態を把握し、情報を発信するとともに、区民が自ら環境に関する調査などを行う機会を提供し、区民の環境に対する意識の向上を図る。							
事業内容 [R3年度]	①大気汚染常時監視 通年 区内1か所 測定項目:気温、浮遊粒子状物質、窒素酸化物、光化学オキシダント ②主要交差点窒素酸化物調査 年2回(6月、12月) 区内2か所 測定項目:窒素酸化物、交通量 ③自動車騒音常時監視 年1回 区内3か所 環境基準適合状況の調査 ④主要幹線道路沿道の騒音・振動調査 年1回 区内3か所 騒音・振動要請限度の調査 ⑤区民環境調査 年1回 区民参加型イベント 水質調査、水生生物の観察								
委託の有無	一部委託		委託内容	測定業務、測定機器メンテナンス					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度		
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	環境測定実施件数	件	2,271	2,278	2,271	2,271	2,271	100.0%
		区民環境調査実施回数	回	4	4	0	1	4	25.0%
	成果指標	大気環境基準の適合状況	%	100.0	66.6	66.6	66.6	100.0	66.6%
		区民環境調査参加人数	人	-	337	0	32	-	-
	決算額 (単位:千円)				R1年度		R2年度		R3年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			5,136		5,131		4,804
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			4,204		5,179		6,303
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			5,126		5,122		4,795
総経費			10		10		10		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		5,078	
	一般財源(区負担額)			9,340		10,311		6,030	
事業の課題	区有施設の老朽化等により、大気汚染常時監視のための大気測定室移転が数年おきとなる。より正確な測定データ収集のため、恒常的な場所を確保しての測定が望ましい。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	環境大気常時測定や交差点付近の窒素酸化物測定は、区内の大気汚染状況を把握するためのデータとして、継続的な測定を実施することが必要である。						
	効率性	3	国、都の状況を見ながら、実施方法の効率性を見直していく。						
	手段の適切性	3	測定機器は高価なものが多く、委託した方が安価なものや高度な技術が必要なものについては、委託により実施している。						
目的達成度	2	光化学オキシダントは、原因物質の発生抑制や機序解明を進めている状況であり、台東区も含め全国的に環境基準に適合していない状況が続いている。区民環境調査については、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を大きく下回った。							
[総合評価]※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
大気汚染や道路騒音は広域的な問題であり、今後も国や都と連携し測定を継続していく必要がある。区民環境調査はコロナ禍で一部実施を取りやめていたが、身近な環境問題を考えるきっかけとして今後も継続して実施していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		隅田川浄化と水辺観察				所管	環境清掃部 環境課				
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	242	計画事業名	隅田川浄化と水辺観察			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現						[事業開始] 昭和53年度			
		[施策] 53 花とみどりを活かした潤いのある環境づくり						[終了予定] - 年度			
	根拠法令等	その他		[法令等名]	環境基本法、水質汚濁防止法等						
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	水辺観察を通して、区民が貴重な水辺空間であることを実感する場を設けるとともに、隅田川の水質や水生生物の生息状況を把握するほか、ハゼ釣りをすることで、幅広い世代への水質浄化を水辺環境向上の意識醸成を図る。									
	事業内容 [R3年度]	①水質調査 区内4か所 計6回 測定項目:pH、DO、BOD、COD、SS、塩化物イオン、全窒素、全りん、アンモニア性窒素等 ②水生生物調査 隔年実施(R3実施なし) 区内3か所 春・秋年2回 ③隅田川ハゼ釣りとお水辺観察 年1回 11月実施 区内在住在勤在学 参加型水質調査 水生生物観察 関連団体有(一般社団法人隅田川有効活用推進協議会、よみがえり隅田川連絡協議会)									
委託の有無	一部委託		委託内容	調査・分析業務、イベント会場設営							
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度				
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率		
	活動指標	ハゼ釣りと水辺観察実施回数	回	1	1	1	1	1	100.0%		
		水質調査及び水生生物調査	回	水質6	水質6	水質6 水生生物2	水質6	水質6	-		
	成果指標	ハゼ釣りと水辺観察参加者数	人	500	283	57	266	300	88.7%		
		水質環境基準の適合状況	%	100.0	75.0	75.0	75.0	100.0	75.0%		
	決算額 (単位:千円)				R1年度		R2年度		R3年度		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,065		2,971		1,230		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			5,465		8,632		8,103		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			1,058		2,964		1,222		
総経費			8		8		8				
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			6,531		11,604		9,333			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0			
	一般財源(区負担額)			0		0		0			
事業の課題	隅田川の水質は全体的に改善傾向にあるが、水中の酸素量については環境基準が未達成である。また、ゲリラ豪雨による一時的な水質悪化、魚浮上事故などが発生することから、継続した水質調査及び調査体制を整えておく必要がある。ハゼ釣りと水辺観察については、関連団体構成員の高齢化が進んでいる。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	隅田川の水質調査等については、将来に向けて経年変化をとらえるためにも継続していく必要がある。また、ハゼ釣りと水辺観察は、隅田川を身近に体感できるイベントとして、親子3世代で参加するなど区民からのニーズは高い。								
	効率性	3	ハゼ釣りと水辺観察においては、関連団体と協働し、イベントの効率的な運営を行っている。								
	手段の適切性	3	水質調査及び水生生物調査は、資格や高度な技術等が必要であるとともに、測定機器が高価であることから、一部委託し実施している。ハゼ釣りと水辺観察については、関連団体構成員が高齢化が進んでいることから代替手段、実施方法について検討していく必要がある。								
	目的達成度	3	隅田川の水質は、夏期にDO(溶存酸素)が低くなる傾向にあり、環境基準に適合しない状況が続いている。ハゼ釣りと水辺観察については新型コロナウイルス対策として募集人数を少なくして実施したため、目標値に届かなかった。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
隅田川の水質改善は、都及び流域自治体を含めた広域的な問題であり、今後も関係自治体と連携しながら測定を継続していく必要がある。また、ハゼ釣りと水辺観察については、コロナ禍においても募集人数に対し高い割合での参加がみられた。幅広い世代への水質浄化と水辺環境の保全等環境保全の意識醸成につながるため、今後も継続していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		大江戸清掃隊					所管	環境清掃部 環境課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	247	計画事業名	大江戸清掃隊		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現					[事業開始] 平成13年度			
		[施策] 54 環境配慮行動の促進					[終了予定] - 年度			
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区大江戸清掃隊設置及び運営要綱					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民・在勤・在学者及び区内各関係団体・企業 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	まちの美化を図るため、町会・事業所・商店街等による自主的な清掃活動を支援し、環境美化意識の啓発につなげていく。								
	事業内容 [R3年度]	①ユニフォーム(半てん)を着用しての登録団体による定期的な地域清掃活動の実施 ②登録団体への清掃活動資材の支援 ③来街者・区民などへの美化啓発 ④定期地域清掃以外での団体の自主的活動への支援								
委託の有無	なし		委託内容	なし						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	広報等掲載回数	回	4	4	4	4	4	100.0%	
		成果指標	登録団体(年度末)	団体	400	345	356	380	360	105.6%
	決算額 (単位:千円)				R1年度		R2年度		R3年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			6,305		4,316		4,502	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			1,425		1,119		1,118	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		0	
		総経費			7,730		5,435		5,620	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			500		500		500			
一般財源(区負担額)			7,230		4,935		5,120			
事業の課題	区内においても「大江戸清掃隊」の認知が進んでおり、新規加入申し込みが毎年順調に増加している。引き続き、新規加入の増加に向け効果的な周知を行うとともに、登録後の活動意欲を維持し高めていく仕組みが必要である。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	区民や事業者等が身近な地域をきれいにしたいという気持ちを実行につなげるものである。また、企業の社会的責任(CSR)や学校の奉仕活動として活用されている。							
	効率性	3	登録団体からの清掃用具申請に対し、有効活用を促すため、清掃活動内容の確認を行い支給数量の適正化を図っている。							
	手段の適切性	3	ユニフォームである半てんと、清掃用具の支給制度が大江戸清掃隊への加入を促すものとなっている。また、揃いのユニフォームを着用して清掃活動を実施することにより、事業のPR効果を高め、加入希望の問合せに繋がるなど、適切な手段となっている。							
	目的達成度	4	新規加入申し込みが毎年順調に増加しており、地域での自主的な環境への取り組みが活性化するとともに、環境美化意識の向上が図られている。							
【総合評価】※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
令和3年度末の登録団体数は380団体で、企業や地域における自主的な清掃・美化活動は区の環境美化の向上に寄与している。区によるキャンペーンの実施や、SNSを活用した清掃活動の働きかけなどの検討を行い、更なる活動の活性化に努めていく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		喫煙等マナー向上の推進				所管	環境清掃部 環境課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	249	計画事業名	喫煙等マナー向上の推進			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現						[事業開始] 平成15年度		
		[施策] 54 環境配慮行動の促進						[終了予定] - 年度		
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	東京都台東区ポイ捨て行為等の防止に関する条例					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民・通勤通学者・来街者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	区内における喫煙等マナーの普及啓発に取り組むことにより、たばこを吸う人も吸わない人も共存できる環境を整備する。								
	事業内容 [R3年度]	(1)ポスター・啓発物品等配布による喫煙等マナーの普及啓発 (2)啓発キャンペーン等実施 (3)喫煙等マナー啓発路面標示シート・ブロックの設置 (4)マナー指導員による喫煙等マナーに対する指導								
委託の有無	一部委託		委託内容	ポイ捨て・歩きタバコ防止指導業務委託 路面標示シート作成・取付・調査委託						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	啓発キャンペーン等実施回数	回	11	0	0	0	11	0.0%	
		マナー指導員配置日数	日	365	360	365	365	365	100.0%	
	成果指標	相談件数	件	-	206	279	276	-	-	
	決算額 (単位:千円)				R1年度		R2年度		R3年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			22,312		53,558		52,368	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			8,407		11,654		14,405	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			22,268		53,558		52,334	
総経費			45		0		35			
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			30,720		65,212		66,774		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0		
	一般財源(区負担額)			21,146		29,833		5,000		
事業の課題				改正健康増進法や東京都受動喫煙防止条例の全面施行により、屋内における喫煙が原則禁煙になったことなどの影響を受け、屋外での喫煙に対する要望が増加しており、効果的なマナー指導及び分煙環境の整備が必要である。						
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	令和2年4月に改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例が全面施行され屋内における喫煙が制限された結果、屋外での喫煙に関する意見が増加傾向にあり、早急に改善策を検討し実施していく必要がある。							
	効率性	3	喫煙等マナーの巡回指導を行いながら、周辺のポイ捨てゴミの清掃も実施するなど、まちの美化向上を図っている。							
	手段の適切性	3	公衆喫煙所ウェブマップの導入などICTを活用し、効果的な喫煙マナーの普及啓発を図っている。							
	目的達成度	3	区に寄せられる様々な意見に対して、マナー指導員の巡回やマナー向上への協力を働きかけることにより、一定の効果がある。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
令和3年4月1日より「東京都台東区ポイ捨て行為等の防止に関する条例」を改正し、歩きタバコの禁止、公共の場における喫煙禁止時間を新たに定めた。新たなルール定着のため、マナー指導員の適切な配置や啓発活動等を着実に実施していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		公衆喫煙所の整備					所管	環境清掃部		
								環境課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	250	計画事業名	公衆喫煙所の整備			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現						[事業開始]	令和 1 年度	
		[施策] 54 環境配慮行動の促進						[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	・東京都台東区ポイ捨て行為等の防止に関する条例 ・東京都受動喫煙防止条例 ・健康増進法					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民、通勤通学者、来街者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	公衆喫煙所を整備することにより、喫煙する人とならない人の双方が共存できる環境を構築する。								
	事業内容 [R3年度]	①公衆喫煙所の整備(R3年度整備箇所:池之端二丁目公衆トイレ横(改良)、上野公園前交番裏(改良)) ②公衆喫煙所の維持管理 ③公衆喫煙所の指定(R3年度指定:上野公園正岡子規記念野球場横)								
	委託の有無	一部委託	委託内容	公衆喫煙所清掃作業委託等						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度		
					目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	公衆喫煙所数(年度末現在)		箇所	-	18	16	17	-	-
	成果指標	公衆喫煙所の整備数(新規・改良・指定)		箇所	3	5	3	3	1	300.0%
	決算額 (単位:千円)					R1年度		R2年度		R3年度
						17,506		38,293		21,525
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				7,566		12,085		10,354
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				17		18,597		7,062
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				17,490		19,697		14,464
		総経費				25,073		50,379		31,880
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		0		0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				10,000		23,804		0	
	一般財源(区負担額)				15,073		26,575		31,880	
事業の課題	屋外における分煙を推進し、喫煙する人とならない人が共存できる環境を構築するため、区内に17カ所の公衆喫煙所を整備しているが、屋外での喫煙に対する要望の増加や公衆喫煙所の需要が高まっており、今後は、区による整備に加え、民間事業者等による整備を推進し公衆喫煙環境の充実を図る必要がある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	令和2年4月より改正健康増進法や東京都受動喫煙防止条例が全面施行されるなど、喫煙に対する社会環境は大きく変化しており、より一層分煙を推進していく必要がある。							
	効率性	3	令和3年度に改良整備を行った、コンテナ型の池之端二丁目公衆トイレ横公衆喫煙所では、昼夜のスペースを区分けし、24時間運営することを可能にした。							
	手段の適切性	3	令和元年度から令和3年度にかけて、計画的に区による公衆喫煙所の整備を行っている。							
	目的達成度	3	令和3年度は、改良整備を2件(うち1件寄贈)、新規指定1件を行い、目標値を上回った。適切に公衆喫煙所を整備することで、喫煙する人とならない人の共存が図られている。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。							今後の方向性			
令和4年3月に、喫煙する人と喫煙しない人が共存できる分煙環境の整備を推進するため、「台東区公衆喫煙環境の整備指針」を策定した。今後は、指針に基づき、整備手法の拡充なども検討し、公衆喫煙所を適切に設置しながら分煙環境の整備に努めていく。							維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		区有施設省エネ推進				所管	環境清掃部 環境課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	231	計画事業名	区有施設省エネ推進	事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現				[事業開始] 平成18年度				
		[施策] 50 低炭素社会の推進				[終了予定] - 年度				
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民・区内事業者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	区有施設において、省エネルギー設備、再生可能エネルギー機器の導入を推進し、都市の低炭素化を推進すると同時に、夏のヒートアイランド対策を進める。								
	事業内容 [R3年度]	①区有施設の屋上緑化やみどりのカーテン等の緑化整備 ②「みどりのカーテンプロジェクト」として、朝顔を区有施設や区民に配布し区内の緑化を推進 ③区有施設への省エネルギー設備や再生可能エネルギー機器等の導入推進 ④打ち水のPRや用具の貸し出し、イベント等を行うことによる、雨水の有効活用にかかる意識啓発								
委託の有無	一部委託		委託内容	本庁舎に設置している屋上緑化やみどりのカーテンのメンテナンス委託、生涯学習センターのみどりのカーテンの設置・撤去委託						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度		
					目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	区有施設へのみどりのカーテンの設置		箇所	60	61	54	49	60	81.7%
	成果指標	本庁舎屋上憩いのガーデン見学者数		人	2,000	2,345	418	1,021	2,000	51.1%
	決算額 (単位:千円)					R1年度		R2年度		R3年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				1,175		1,107		1,116
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				8,827		7,769		7,203
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				1,176		1,052		1,117
		総経費				0		55		0
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				10,003		8,876		8,320
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0		
一般財源(区負担額)				19		0		0		
事業の課題	区有施設において、緑化整備・省エネ機器の導入等を率先して行うことで、区民や事業者における地球環境保全に対する更なる意識の向上を図ることが課題である。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	深刻化している地球温暖化やヒートアイランド現象の抑制のため、区が率先して区有施設の緑化や省エネ機器等の導入、打ち水の実施を推進していく必要性は高い。							
	効率性	3	省エネとヒートアイランド対策に取り組むにあたり、プランター等を利用した「みどりのカーテン」を使用することで、少ない経費で都市の低炭素化を進めている。							
	手段の適切性	3	専門的な技術が必要な屋上緑化のメンテナンスやみどりのカーテンの設置・撤去は専門業者へ委託して実施している。							
目的達成度	2	みどりのカーテン設置数に関しては、主な設置施設が学校・園等であるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止等の対応が急務な状況であり、目標に達しなかった。また、緊急事態宣言等の発令や外出自粛等の影響により、屋上ガーデン見学者数も目標には達しなかった。								
【総合評価】※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
コロナ禍においても、適切に対策を講じながら、区有施設にて雨水や二次利用水を利用した打ち水や、壁面を緑化することで高温化を抑制するためのみどりのカーテンの設置を行った。今後も、緑化整備、省エネ機器の導入等を区有施設で率先して行うことにより、住宅、事業所等でのCO2排出削減を推進すると同時に、夏のヒートアイランド対策を引き続き進めていく。なお、区有施設のみどりのカーテンについては、施設のニーズを把握するなどして、一層の設置に努めるとともに、屋上ガーデンの見学者数増加を図るため、引き続きHP等によるPRを行っていく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		我が家の省エネ・創エネアクション支援				所管	環境清掃部 環境課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	229	計画事業名	我が家の省エネ・創エネアクション支援			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現					[事業開始] 平成17年度			
		[施策] 50 低炭素社会の推進					[終了予定] - 年度			
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区環境MVP表彰要綱、東京都台東区再生可能エネルギー機器等助成制度実施要綱、東京都台東区高反射率塗料施工助成制度実施要綱等					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	地球温暖化対策の普及啓発や家庭での省エネの実践を促すことで、区民のライフスタイルを環境配慮型へと変え、地球温暖化の最大の原因であるCO2排出を削減する。また、再生可能エネルギー機器等の利用を促進することで、地球温暖化・ヒートアイランド対策を推進する。								
	事業内容 [R3年度]	(1)省エネに関する普及啓発 (2)再生可能エネルギー機器導入、高反射率塗料施工、窓・外壁等の遮熱・断熱改修、雨水貯留槽設置等に対する助成 (3)日々の生活で省エネに取り組むための「我が家のCO2ダイエット宣言」の実施 (4)省エネの取組みに対する意識調査を募集し、応募者に省エネ通信簿を交付 (5)区立小学校3～6年生の夏休みの課題として「こどもかんたん省エネカレンダー」を配布 (6)地球温暖化対策に関するイベントの実施(環境ふれあい館まつり・環境フェスタ) (7)家庭向けソーラー診断の実施 (8)省エネナビの貸出								
委託の有無	一部委託		委託内容	環境MVP・省エネカレンダーデータ集計及び分析委託、共同住宅向け省エネコンサルタント派遣委託、ソーラー診断実施委託、省エネナビ設置・撤去委託						
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	活動指標	再エネ機器等助成種類数		種類	7	6	7	7	7	100.0%
		共同住宅向け省エネ診断		回	3	3	2	1	3	33.3%
	成果指標	再エネ機器等助成件数		件	121	114	146	70	77	90.9%
		我が家のCO2ダイエット宣言者数(累計)		人	20,539	16,255	17,335	18,539	17,740	104.5%
	決算額 (単位:千円)					R1年度		R2年度		R3年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				21,399		21,430		11,848
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				10,089		13,380		13,505
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				3,352		2,355		2,048
		総経費				18,048		19,076		9,800
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				31,489		34,811		25,353	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0	
	一般財源(区負担額)				4,430		5,260		3,184	
事業の課題	CO2排出抑制のため、区民が継続して省エネに取り組める仕組みづくりや、省エネ機器助成制度の内容の見直しを検討していく必要がある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	地球温暖化対策は急務である上に、民生家庭部門からのCO2排出量は全体の3割を超えて依然として多いため、家庭向け省エネ機器等の助成制度等、継続して省エネ対策を支援していく必要がある。							
	効率性	3	広報紙等を活用し、省エネ機器等導入や電気料金の削減効果等を周知することで、効率的に普及を推進している。							
	手段の適切性	3	共同住宅居住率が高いことから、専門的な知識を有する診断士による共同住宅向けの省エネ診断を委託により実施、家庭での省エネを推進している。							
	目的達成度	3	我が家のCO2ダイエット宣言の宣言者数については、目標を上回っている。助成件数は予算上限及び一件当たりの助成金額により件数に変動はあるが、家庭の省エネにつながっている。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
家庭における省エネルギーのアドバイスや省エネルギー機器などの導入に対し助成を行うなど、くらしや住まいづくりを支援し、二酸化炭素排出抑制のための対策を推進する。						維持				

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		我が社の環境経営推進					所管	環境清掃部 環境課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	230	計画事業名	我が社の環境経営推進			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現					[事業開始] 平成25年度		
		[施策] 50 低炭素社会の推進					[終了予定] - 年度		
	根拠法令等	要綱	[法令等名]		台東区環境MVP表彰要綱、台東区省エネ専門家派遣事業実施要綱、台東区我が社の環境経営推進助成制度実施要綱、東京都台東区高反射率塗料施工助成制度実施要綱等				
	事業対象	直接の対象 : 区内で事業活動をしている事業者 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	地球温暖化の原因である二酸化炭素排出量を削減するため、事業者の省エネルギーの取組みを支援する。							
	事業内容 [R3年度]	(1)省エネ専門家派遣の実施 省エネルギー診断、ソーラー診断、省エネルギー講座(2)我が社の環境経営推進助成(省エネ診断等により認められた機器導入、太陽光発電システム設置、高反射率塗料施工、窓・外壁等の遮熱・断熱改修、雨水貯留槽設置)(3)区独自の簡易的な環境マネジメントシステムである「我が社のCO2ダイエット宣言」の実施(4)「我が社のCO2ダイエット宣言」参加事業者の中から取組の優秀な企業を「環境MVP」として表彰(年1回)(5)事業者向けの省エネ等に関する講座の開催							
委託の有無	一部委託	委託内容		省エネ専門家派遣事業実施委託					
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度		
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	省エネルギー講座開催数	回	1	3	2	1	1	100.0%
		省エネ機器等助成種類数	種類	6	6	6	6	6	100.0%
	成果指標	我が社のCO2ダイエット宣言事業所数(累計)	社	550	404	435	460	494	93.1%
		省エネ機器等助成件数	件	39	35	31	18	20	90.0%
	決算額(単位:千円)				R1年度		R2年度		R3年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			10,248		8,664		4,565
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			8,407		11,567		12,605
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			4,711		3,532		1,723
総経費			5,537		5,133		2,842		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			18,655		20,232		17,170	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0	
	一般財源(区負担額)			0		0		0	
事業の課題	CO2排出抑制のため、区内事業者の事業活動において、環境負荷の低減だけでなく、経費削減など経営改善にもつなげる省エネ支援や、省エネ機器助成制度の内容の見直しを検討していく必要がある。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	地球温暖化対策は急務である上に、民生業務部門からのCO2排出量は全体の約4割と多く、事業所の効果的な省エネの取組みを引き続き支援する必要がある。						
	効率性	3	省エネルギー診断により、それぞれの事業所にあった省エネ方法の普及を行うとともに省エネルギー講座などで省エネ方法を周知することで、効率的に省エネ方法の普及を行っている。また、機器導入によるエネルギー削減効果等の周知を行っている。						
	手段の適切性	3	省エネ専門家派遣事業は、専門的な知識が必要であるため、適切な事業者に委託して実施している。						
	目的達成度	3	我が社のCO2ダイエット宣言事業所数の増加率は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり年々減少している。						
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
事業所における省エネルギー化を進めるため、専門家による省エネルギー診断や講座を実施するとともに、引き続き省エネ機器の助成を行う。また、省エネルギー講座では、これまで作成した業種別の省エネモデルを活用し効率的な省エネ支援を進めていく。						維持			

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		地域緑化推進					所管	環境清掃部	
								環境課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	241	計画事業名	地域緑化推進		事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現					[事業開始] 昭和50年度		
		[施策] 53 花とみどりを活かした潤いのある環境づくり					[終了予定] - 年度		
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	台東区みどりの条例				
	事業対象	直接の対象 : 一般区民、区内で活動してる事業者 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	みどり豊かなまちづくりのため、身近なみどりの普及啓発を行う。また、屋上・壁面・地先緑化等、緑化に要した費用の一部の助成、保護樹木等の維持管理費の助成により、区内のみどりの創出と、樹木の保護・育成を促し、都市環境の保全を図りながら、ヒートアイランド・地球温暖化対策を推進する。							
	事業内容 [R3年度]	1.「花とみどりの園芸講習会」の開催:5回 2.グリーン・リーダーの活動支援 上野駅前 ジュエリーブリッジ花壇植替:2回、再生土配布:5回、台東区役所正面玄関前 あさがお苗配布:1回 3.保護樹木等への助成金交付:指定保護樹木289本、指定保護樹林5か所、つる性植物3か所							
委託の有無	一部委託		委託内容	あさがお展示会会場設営					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度		
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	みどりに関する講習会実施回数	回	18	16	4	5	15	33.3%
		グリーン・リーダー活動回数	回	30	22	4	11	30	36.7%
	成果指標	みどりに関する講習会等参加者数	人	-	925	194	354	-	-
		グリーン・リーダー活動平均参加者数	人	25	28	31	26	25	104.0%
	決算額 (単位:千円)				R1年度		R2年度		R3年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			5,186		3,074		3,491
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			13,139		13,053		13,593
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			2,484		893		1,641
総経費			2,175		2,078		1,763		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			17,798		16,024		16,997	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			274		40		40	
	一般財源(区負担額)			520		506		559	
				17,004		15,478		16,398	
事業の課題	区内のみどりをより増やしていくため、民間施設に対する緑化助成制度の促進・普及啓発をより一層行っていく必要がある。また、コロナ禍における事業実施手法を検討しながら、グリーン・リーダーの活動支援や、様々な園芸講習会を実施する必要がある。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	みどりに関する普及啓発や緑化活動は、みどり豊かなまちづくり、都市環境の保全、ヒートアイランド現象の緩和、地球温暖化対策の観点から継続して実施していく必要がある。						
	効率性	3	区民が花とみどりに親しむ機会を様々な形で提供し、また、グリーン・リーダーの協力を得て事業を実施することで、事業の充実、グリーン・リーダーの育成など一つの事業で複数の効果につながるよう効率的に事業を展開している。						
	手段の適切性	3	「花とみどりの園芸講習会」は、受講者のニーズに応えられるようにアンケートを実施し、適宜内容の見直しを適時行っている。						
	目的達成度	3	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小・中止を余儀なくされたが、状況に応じた実施方法の工夫などにより、グリーン・リーダー活動平均参加者数及びみどりに関する講習会等参加者数は目標を達成した。						
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業の縮小・中止を余儀なくされる状況ではあったが、あさがおの苗配布を事前申込制等で行ったり、新たなグリーン・リーダーの活動機会として再生土の配布を行うなど、状況に応じ事業を実施した。保護樹木の指定本数も昨年度より12本増加している。今後も環境の保全・改善等のため、みどりの普及啓発を継続していくとともに、更なるみどりの創出のため、民間施設緑化助成金の周知、利用促進を行いながら総合的に取り組んでいく。						維持			

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		環境(エコ)フェスタ				所管	環境清掃部			
							環境課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	248	計画事業名	環境(エコ)フェスタ		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現					[事業開始] 平成13年度			
		[施策] 54 環境配慮行動の促進					[終了予定] - 年度			
	根拠法令等	その他		[法令等名]	環境フェスタ実施要領					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民(来場者) 最終的な対象 : 一般区民								
	事業目的	環境問題を区民とともに考え、環境にやさしい暮らしの実践を図り、資源循環型社会等の実現を目指す。区内の環境・リサイクル団体の活動や学習成果の発表と企業の取組みの展示等を実施し、広く情報を提供することによって区民意識の啓発とその高揚を図る。								
	事業内容 [R3年度]	環境(エコ)フェスタは、区内の環境・リサイクル実施団体(参加団体)及び企画・運営に携わることを希望する者で構成する、実行委員会を設置して企画・運営している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため例年とは異なりオンライン開催とした。また、生涯学習センターアトリウムでフードドライブとパネル展示を実施した。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止)								
委託の有無	一部委託		委託内容	実行委員会企画運営委託、事前収録講演委託(R3)						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	開催回数	回	1	1	0	1	1	100.0%	
		参加団体数	団体	-	39	0	25	-	-	
	成果指標	来場者数	人	-	14,982	0	-	-	-	
	決算額(単位:千円)				R1年度		R2年度		R3年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			3,017		0		773	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			5,885		6,043		7,203	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			2,785		0		772	
総経費			231		0		0			
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			8,901		6,043		7,975		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0		
	一般財源(区負担額)			8,901		6,043		7,975		
事業の課題	新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ、環境問題が注目されるなかでの情報発信など、今後の実施内容を検討する必要がある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	環境イベントとして21回目を迎え、区民に定着したイベントとなっている。今後も環境に対する普及啓発を推進するためには、実行委員会を組織して、区民との協働により事業を実施する必要がある。							
	効率性	3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、パネル展とオンライン開催とし、会場設営等に係る経費は区が直接負担し、イベントの企画・運営を実行委員会に委託することで、事業の効率化を図っている。							
	手段の適切性	3	環境・リサイクル団体や企業などの参加団体で構成された実行委員会により企画・運営を行い、発足当初から活発な意見交換を行っており、事務局との協働体制も整っている。							
	目的達成度	3	令和2年度に中止した本事業を新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、オンライン開催としたことで事業継続をすることができ、環境問題に対する区民意識の啓発に繋がった。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
区内の環境・リサイクル団体が企画、運営し実施される本事業は、環境問題に対する様々な課題の情報を区民に発信する機会として役立っている。環境に対する課題や取り組みについては区民生活に直結する内容が多く、広く普及啓発の機会とするため、今後もより効果的な内容や周知方法を検討し、一層の定着を図っていく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		微細ミストの運用					所管	環境清掃部 環境課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	232	計画事業名	微細ミストの運用		事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現					[事業開始] 令和 1 年度				
		[施策] 50 低炭素社会の推進					[終了予定] - 年度				
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし						
	事業対象	直接の対象 : 一般区民や台東区へ来訪する観光客 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	微細ミストを運用することで、区内の暑さ対策及び観光客等へのおもてなし環境の整備を図る。									
	事業内容 [R3年度]	・微細ミストの運用 設置場所: 浅草文観光センター、雷門地下駐車場、駒形公園、浅草橋公園 日時: 令和3年6月1日~9月30日 ※令和元年度「東京2020大会に向けた暑さ対策推進事業補助金」(補助率10/10 上限5,000万円)を活用し設置 ・可搬式ミスト機の貸出し									
委託の有無	一部委託		委託内容	微細ミストの設置・撤去・管理等							
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度				
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率		
	活動指標	設置箇所数	か所	2	4	4	4	4	100.0%		
		成果指標	設置箇所数	か所	2	4	4	2	2	100.0%	
	決算額 (単位:千円)				R1年度	R2年度	R3年度				
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			43,050	3,370	7,343				
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			3,363	7,769	6,753				
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			43,051	3,370	7,343				
		総経費			0	0	0				
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			46,414	11,139	14,096				
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0						
一般財源(区負担額)			41,687	728	0						
事業の課題	東京2020大会に向けた暑さ対策として設置を行ってきたが、大会が終了したことや、毎年発生する設置費用が高額であるため、設置場所を事業効果の高い箇所に見直したところである。今後、設備の老朽化対策(耐久年数など)を考慮し、修繕・故障対応を行っていく必要がある。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	微細ミストを稼働することで多くの区民や観光客等への暑さ対策、おもてなしを図ることができるとともに、近年の猛暑対策としても引き続き運用していく必要がある。								
	効率性	3	東京2020大会に向けた暑さ対策推進事業補助金を活用し設置を行ってきたが、大会の終了や、微細ミスト機の設置に係る費用が高額なため、設置場所の見直し等を行った。								
	手段の適切性	3	多くの人が密集しないなど、状況を見ながら運転、停止を行っている。また、専門的な知識を有する事業者へ委託を行っている。								
	目的達成度	3	暑さ対策として微細ミストを活用しCO2排出削減につなげ、省エネルギー化を推進するとともに、観光客等へのおもてなしの環境整備につながっている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
東京2020大会に向けた暑さ対策として設置を行ってきたが、今後、事業効果の高い箇所には、引き続き暑さ対策として微細ミスト機を活用する一方、効果的な活用方法及び運用経費について継続的に検討する。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		環境学習の推進				所管	環境清掃部		
							環境課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	245	計画事業名	環境学習の推進		事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現					[事業開始] 平成12年度		
		[施策] 54 環境配慮行動の促進					[終了予定] - 年度		
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	環境保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律 東京都台東区立環境ふれあい館条例、同施行規則				
	事業対象	直接の対象 : 来館者、在勤・在学者 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	身近な環境から地球環境まで、幅広い視点からの環境学習を提供することで、環境保全に対する理解や意識の向上を図り、環境配慮型の行動へと繋いでいく。							
	事業内容 [R3年度]	こども環境委員会、環境学習入門講座、環境・ごみ減量・リサイクル講演会、区民自然観察員養成講座など、子どもから大人まで各世代に応じた環境学習講座を開催した。また、環境学習室を感染症対策を講じて整備・運営し、区民に環境学習の場を提供するとともに、学校・地域・職場など様々な場面で、それぞれの主体が環境学習に取り組めるよう、環境情報の提供や人材育成、交流支援を行った。							
委託の有無	一部委託		委託内容	①環境学習入門講座 ②区民自然観察員養成講座 ③会計年度任用職員指導・ボランティア養成研修 ④精華公園ビオトープ調査 ⑤展示水槽管理					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度		
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	環境学習講座実施回数	回	83	103	50	78	82	95.1%
		環境講演会実施回数	回	24	22	14	20	24	83.3%
	成果指標	環境学習講座受講者数	人	2,015	4,645	1,106	1,497	2,000	74.9%
	決算額 (単位:千円)				R1年度		R2年度		R3年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			29,048		30,366		31,140
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			28,681		33,735		34,024
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			14,686		12,095		12,266
総経費			802		346		641		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			44,169		46,176		46,931	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			79		20		21	
	一般財源(区負担額)			1,520		1,797		1,855	
			42,570		44,359		45,055		
事業の課題	気候変動、プラスチックごみ、ゼロカーボンなど変化する環境問題に対し、展示やプログラムなどについて感染症対策の観点も踏まえ見直ししていく必要がある。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	環境問題は、区民や事業者がその役割と責任を理解して、環境配慮行動に取り組んでいくことが大切である。地球温暖化や、プラスチックごみの環境への影響、ゼロカーボン、再生エネルギーの利用など、近年環境問題が取り上げられている中、区民に対して行う環境学習が果たす役割は大きく、その必要性も高い。						
	効率性	3	事業の展開をNPOとの協働で実施するなど、多様な取り組みで効率化を図っており、おおむね適切である。						
	手段の適切性	3	事業実施にあたり、環境保全活動団体、環境学習事業に特化した特定非営利活動法人や民間企業などが持つ専門性を活用し、多様なニーズに対応できるよう取り組んでいる。						
目的達成度	3	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、参加者のニーズに応えることが出来た。さらなる学習機会の提供につなげるため、より参加者のニーズを捉えた内容を工夫するとともに、応募方法の見直しなどを行う。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
子供から大人まで多くの区民に各世代に応じて学習の場を提供するとともに、環境の情報を提供している。引き続き、環境保全に対する理解や意識の向上を図るため、様々な環境問題に目を向け、より多くの区民のニーズに応えられるよう事業内容を検討する。						維持			

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		花の心プロジェクト啓発				所管	環境清掃部			
							環境課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	240	計画事業名	花の心プロジェクト	事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現				[事業開始] 平成28年度				
		[施策] 53 花とみどりを活かした潤いのある環境づくり				[終了予定] - 年度				
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし					
	事業対象	直接の対象 : 区民、事業者、来街者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	花でまちを飾り、心豊かで潤いのあるまち台東区を世界にアピールするとともに、区内に花を広げ、区民のおもてなしの心を育みます。								
	事業内容 [R3年度]	(1)花の心プロジェクト推進協議会の開催 (2)花とみどりに関する講習会 5講座 (3)園芸用土のリサイクル 12回 (4)プランター設置助成 9件 (5)学校等と連携した「花育」の実施 (6)花の心フラワーサポーター制度 (7)花の心ハンギングバスケットフラワーサポーター制度 (8)区道・公園等の花壇の維持管理 (9)イベント時の花による装飾支援や花の種等の配布 (10)東京2020大会に合わせた花による装飾								
委託の有無	一部委託		委託内容	花の装飾に関する委託、花壇維持管理委託 など						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度		
					目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	花の心プロジェクト推進協議会の開催		回	-	2	1	1	-	-
		イベントに対する花による装飾等支援		回	-	14	6	17	-	-
	成果指標	花の心フラワーサポーター登録数(累計)		人	721	523	581	661	553	119.5%
	決算額 (単位:千円)					R1年度		R2年度		R3年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				36,712		23,742		55,512
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				12,610		15,970		16,657
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				36,608		23,722		55,473
		総経費				105		20		40
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				49,323		39,712		72,170	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				180		30		60	
	一般財源(区負担額)				56		0		3,300	
事業の課題	一般財源(区負担額)				49,087		39,682		68,810	
<p>これまで環境課主体のイベントだけではなく、他部署や区民主体のイベントなどを活用して普及啓発活動の機会を増やしたり、区道・公園等の花壇の維持管理手法を見直しながら花壇を充実させたりしてきたが、さらに区民や事業者に対する普及啓発活動の機会や花とみどりに触れ合う機会を創出することが課題である。</p>										
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	区内に花を広げ、区民のおもてなしの心を育むことで、まちの活力を取り戻し、持続的な発展につなげることに資する取り組みであるとともに、花とみどりの創出や保全を推進する取り組みである。							
	効率性	3	イベント時における装飾支援や花の種等の配布のほか、他部署の窓口を活用したPRやホームページへの取組み掲載などで、効率的に普及啓発をしているため。また、環境課だけではなく、教育委員会などと連携することで、子供たちに花の心の教育(花育)を実施している。							
	手段の適切性	3	花の心プロジェクトの推進にあたっては、区民や事業者等の参画が必須である。そのため、区長、区議会、各町会連合会、各観光連盟、商店街、関係企業(鉄道事業者)、関係官公庁等で組織する花の心プロジェクト推進協議会を開催し、事業内容や方向性等について協議をすることで、手段の適切性に努めている。							
	目的達成度	4	花の心フラワーサポーター登録人数が増えているなど、着実に区民の花の心の育成が図られている。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
<p>東京2020大会を契機とし、花でまちを飾り、心豊かでうるおいのあるまち台東区をPRしてきた。本区における花とみどりの創出や保全を推進して、この取り組みを継続するとともに、「花とみどりの基本計画」と合わせて、花とみどりを活かした心豊かでうるおいのあるまちを目指す事業を展開する。</p>						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		区有施設省電力型照明整備					所管	環境清掃部 環境課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	231	計画事業名	区有施設省エネ推進		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 50 低炭素社会の推進					[事業開始] 平成 29 年度 [終了予定] 令和 6 年度			
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民、施設利用者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	区有施設において、省電力型照明機器の導入を率先して行うことにより、住宅・事業所等でのCO2排出削減の推進を促すとともに、都市の脱炭素化を実現する。								
	事業内容 [R3年度]	施設保全計画で10年以内に、改修等の予定がない施設について整備を進めるものであり、令和3年度は、谷中小学校、千束小学校、金竜小学校の各体育館・校庭において、省電力型照明機器を導入した。								
	委託の有無	なし		委託内容		なし				
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	R5年度 目標値	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	省電力型照明機器整備施設数		施設	30	5	10	3	3 100.0%	
	成果指標	省電力型照明機器整備施設数(累計)		施設	79	24	34	37	37 100.0%	
	決算額 (単位:千円)					R1年度		R2年度		R3年度
						111,510		98,578		56,356
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				5,548		4,145		1,621
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				0		6,698		0
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				111,506		71,378		56,357
		総経費				117,054		82,221		57,978
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		0		0
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0		0		52,000		
一般財源(区負担額)				117,054		82,221		5,978		
事業の課題	公共施設保全計画との兼ね合いや施設利用者への影響などを考慮しながら、対象施設や整備時期の選定、調整が必須となる。									
評価の視点	必要性	3	温室効果ガスの排出削減を図るため、環境に配慮した省電力型照明機器の導入を進める必要がある。							
	効率性	3	省電力型照明整備計画を策定し、毎年計画に基づいて整備をすすめている。							
	手段の適切性	3	照明機器の使用年数に応じ、機器ごと交換する方法と部品を交換する方法とで対応している。							
	目的達成度	4	計画通り着実に整備を行い、成果指標の目標は達成している。							
[総合評価]※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
照明機器の使用年数に応じ、機器ごと交換する方法と部品を交換する方法とで対応するなど、施設の状況に合わせて着実に整備を行ってきた。住宅・事業所等でのCO2排出削減の推進を促すとともに、都市の脱炭素化を実現するためには、区有施設において、計画に基づき省電力型照明機器の導入を行う。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		食の「もったいない」意識の啓発				所管	環境清掃部 清掃リサイクル課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	235	計画事業名	食品ロス削減の啓発	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 51 ごみの発生抑制の促進				[事業開始]	平成 29 年度		
						[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕			東京都台東区廃棄物の処理及び再利用に関する条例			
	事業対象	直接の対象 : 一般区民、区内事業者、来街者 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	燃やすごみの約3割を占める生ごみを削減するため、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロス削減の啓発に取り組み、区民や事業者のもったいない意識の醸成を図る。							
	事業内容 [R3年度]	(1)区民向け啓発事業 ①食品ロス削減月間のパネル展等の実施 ②食品ロス削減の取り組みを推進する日「たいとう食ハビDay」の創設、啓発 (2)イベント時のフードドライブの実施 (3)季節ごとの啓発 (4)事業者への食品ロス対策支援(食品ロス啓発物品の活用周知)							
委託の有無	なし	委託内容		なし					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度 目標値	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	食品ロス削減講座実施プログラム数	回	-	2	0	-	-	-
		食品ロス削減についての情報発信(媒体数)	個	9	-	-	7	-	-
	成果指標	食品ロス削減講座延べ参加者数	人	-	33	0	-	-	-
		食品ロス削減についての情報発信(月数)	月	12	-	-	7	-	-
	決算額 (単位:千円)				R1年度		R2年度		R3年度
					1,288		1,237		27
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			6,726		4,316		7,203
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			1,262		215		27
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			26		0		0
総経費			8,014		4,531		7,230		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0	
	一般財源(区負担額)			8,014		4,531		7,230	
事業の課題	平成29年度から食品ロス削減講座等の啓発事業を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度、3年度は事業が実施できなかった。新型コロナウイルス感染症により、区民・事業者等の活動状況に変化が見える中、新たな啓発手法について検討する必要がある。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	台東区食品ロス削減推進計画に基づき、区民・事業者・来街者・行政が、相互に連携・協力し、食品ロス削減の取り組みを進める必要がある。						
	効率性	3	区ホームページ、ツイッター等で情報を発信している。ネット環境がない方にも情報が行き届くよう、広報たいとうや環境案内人などの紙媒体でも情報を発信している。事業者へは関係部署との連携を図って効率的に情報を発信していく。						
	手段の適切性	3	食品ロス削減に向けて継続的な啓発が必要である。今後も紙と電子を併用しながら情報を発信するほか、ICTの活用を検討するなど、意識の醸成や行動変容につなげていく。						
目的達成度	3	食品ロス削減講座は新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度、3年度は実施ができなかった。食品ロス削減の取り組みを推進する日「たいとう食ハビDay」の創設では、幅広い世代から多数の応募があるなど、コロナ禍においても効果的な取り組みが実施できた。							
【総合評価】※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
台東区食品ロス削減推進計画に基づき、新型コロナウイルス感染症による区民・事業者等の活動状況の変化に対応した事業の見直しを検討する。区民へは、あらゆる媒体で食品ロス削減についてより一層の周知を図り、もったいないの意識の醸成につなげていく。また、NPO法人や民間事業者の取り組みも進んでいるため、関係部署と連携・協力のもと、食品ロス削減の取り組みを推進する。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		ごみ収集管理				所管	環境清掃部 清掃リサイクル課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	239	計画事業名	粗大ごみの資源化	事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現				[事業開始] 平成12年度				
		[施策] 52 資源循環の促進				[終了予定] - 年度				
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、東京都台東区廃棄物の処理及び再利用に関する条例						
	事業対象	直接の対象 : 一般区民・区のごみ収集を利用する事業者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	一般廃棄物の収集・運搬業務を行うことにより、生活環境を清潔にする。また、廃棄物の適正な排出を促すことにより、廃棄物の減量と資源化の促進を図る。								
	事業内容 [R3年度]	・家庭及び事業所から排出される一般廃棄物の収集・運搬業務 ・適正な分別排出の指導								
委託の有無	一部委託	委託内容	・粗大ごみ収集運搬業務委託 ・粗大ごみ資源化委託 ・燃やさないごみの選別・資源化業務委託 ・集積所管理システム保守委託							
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	区収集ごみ量実績	t	40,789	41,800	41,342	40,735	41,707	102.4%	
		指導件数	件	-	5,383	4,518	4,344	-	-	
	成果指標	区民一人一日当たりのごみ量	g	528	563	555	546	552	101.1%	
	決算額 (単位:千円)				R1年度		R2年度		R3年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			806,054		975,361		983,745	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			4,204		125,888		119,528	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			806,055		863,897		873,924	
総経費			0		0		0			
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			810,259		989,785		993,452		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			305,786		345,683		345,199		
	一般財源(区負担額)			2,361		12,910		16,784		
事業の課題	平成24年度からの10年間で、粗大ごみ量が203t(13%)増加している。埋立処分量の削減が求められていることから、区民が一部の粗大ごみを持ち込める窓口を開設したが、さらに粗大ごみの資源化に向けた方策を検討する必要がある。また、区内事業者へ排出者責任を徹底するため、区収集から民間収集への移行を進める必要がある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	区民の生活環境の保全を図る上で、必要不可欠な事業である。適正な分別の促進や資源化の向上を図り、ごみを減量するためには、収集するだけでなく、きめ細やかな排出指導が必要である。							
	効率性	3	ごみの大幅な減量がなかったため、前年度同様の収集車両、人員体制で事業実施した。引き続きごみ量に応じた作業計画に基づき、適正な人員・車両台数により収集・運搬作業を行う。							
	手段の適切性	4	収集と排出指導が一体となった作業を行っている。また、申込制を取り、指導の必要性が低い粗大ごみの収集運搬及び埋立処分ができない廃蛍光管等を含む燃やさないごみの選別・資源化処理については、民間事業者に委託している。							
	目的達成度	4	令和3年度の区収集ごみ量および区民一人一日当たりのごみ量の実績は、前年度より減少しており、目標値も達成している。新型コロナウイルス感染症の影響による区民の生活行動の変化が減少要因として考えられる。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
令和3年度は前年度対比で燃やすごみは減少しているものの、粗大ごみは増加している。引き続き粗大ごみの資源化について検討するとともに、きめ細やかな排出指導により、ごみ・資源の総排出量の削減を図る。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		資源回収				所管	環境清掃部 清掃リサイクル課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	237	計画事業名	資源回収	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	【基本目標】誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現				【事業開始】平成 4 年度			
		【施策】52 資源循環の促進				【終了予定】 - 年度			
	根拠法令等	法令(義務)		【法令等名】	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、東京都台東区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等				
	事業対象	直接の対象 : 区民、一部の小規模事業所 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	ごみの減量・リサイクルの推進を図るために、分別回収を行い、再資源化を行う。							
	事業内容 [R3年度]	資源の回収場所を設置し、回収した資源の再資源化を行う。 【集積所回収】古紙類(新聞・雑誌・段ボール・紙パック)、びん、缶、ペットボトル、食品発泡トレイ・食品発泡カップ 【拠点回収】紙パック、乾電池、廃食油、古布、ビデオテープ類、蛍光灯、小型家電 【教育回収】缶、紙パック							
	委託の有無	全部委託	委託内容	回収場所に排出された資源の回収、資源化施設での再資源化処理等					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度		
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	行政資源回収品目	品目	15	15	15	15	15	100.0%
		行政資源回収量	t	7,738	6,801	7,588	7,687	7,262	105.9%
	成果指標	資源回収率【資源回収量/(資源回収量+区収集ごみ量)】	%	24.8	22.9	24.3	24.3	23.7	102.5%
	決算額 (単位:千円)				R1年度	R2年度	R3年度		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			468,918	505,578	525,202		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			15,974	15,366	21,335		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			468,918	505,578	525,203		
総経費			0	0	0				
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			484,892	520,944	546,538			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			2,597	2,248	2,318			
	一般財源(区負担額)			37,882	30,123	77,623			
事業の課題				444,413	488,573	466,597			
集積所回収の安定した事業継続のため、分別排出の必要性を周知していくとともに、より効率・効果的な回収体制や排出指導體制となるよう、適宜見直しをする必要がある。また、拠点回収の品目と回収場所をわかりやすく区民に周知し、区民の排出機会の拡大につなげていく必要がある。									
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	資源回収はこれまでも集団回収等の民間での取り組み行われてきているが、民間で対応ができない部分は区が主体となって実施していかなければならない。そのため、区民の利便性を考慮した様々な回収形態で、効果的かつ継続的に回収し、安定的に処理する必要がある。						
	効率性	3	ごみ・資源の集積所管理システムを導入しており、情報の円滑な共有等による効率性向上に寄与している。また、委託業者と密に連携し作業体制を精査することで、資源集積所の増加によるコストの上昇を最低限に抑えている。						
	手段の適切性	4	集積所ペットボトルの回収車両を平ボディ車からパッカー車に変更し、夏期や年始の増量期にも作業計画を変更せず、臨時車無しで対応できるようにした。						
	目的達成度	4	行政資源回収量は増加している。また、資源回収率も増加しており、分別排出は着実に進んでいる。						
【総合評価】※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
安定的な再資源化を維持できるよう、収集車両・作業員にかかる委託内容の精査や売却・処分先の選定に努めている。本事業は、継続性や安定性を必要とするため、今後も回収品目を取り巻く動向や市場価格・人件費などの変動要因に留意し、品目ごとに適した回収・資源化に取り組んでいく。また、集団回収とともに、循環型社会形成に資する資源回収を進めていく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		生活家電ごみ持込窓口等運営					所管	環境清掃部 清掃リサイクル課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	239	計画事業名	粗大ごみの資源化			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現					[事業開始] 令和 3 年度			
		[施策] 52 資源循環の促進					[終了予定] - 年度			
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	東京都台東区廃棄物の処理及び再利用に関する条例					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	区民自らが生活家電等の粗大ごみを持ち込むことのできる窓口を整備することで、区民の排出機会を拡大し、申込等の分散化を促すとともに、収集作業の効率化、一層の資源化の向上を図る。								
	事業内容 [R3年度]	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ふれあい館ひまわり3階で、生活家電ごみ持込窓口の運営(申込受付、受取り、保管、運搬業者への引き渡し等) ・持込場所:環境ふれあい館、台東清掃事務所北上野分室 								
	委託の有無	全部委託		委託内容	申込受付、対象品目の受け取り・保管、業者への引き渡し					
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	持込窓口 申込件数	件	-	-	-	865	-	-	
		持込窓口 持込個数	個	-	-	-	1,219	-	-	
	成果指標	資源化量	kg	-	-	-	4,270	-	-	
	決算額 (単位:千円)				R1年度		R2年度		R3年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			-		-		4,868	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			-		-		4,869	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			-		-		0	
総経費			-		-		12,972			
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			-		-		0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			-		-		0		
	一般財源(区負担額)			-		-		12,972		
事業の課題	受入れ可能品目かどうかを確認するため、申込みが電話受付のみとなっている。今後は区民の利便性向上のため、インターネットなど他の申込方法を検討する必要がある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	粗大ごみの排出量や申込件数は増加している状況である。また、台東区一般廃棄物処理基本計画において、粗大ごみの資源化の実施が新規の取り組み内容として定められている。区民の排出機会を拡大し、資源化を図る必要性は高まっている。							
	効率性	3	生活家電ごみの持込については、台東清掃事務所北上野分室でも清掃事務所職員が対応しており、効率的に事業を実施している。また、業務マニュアルを作成し業務手順の効率化・統一化を図っている。							
	手段の適切性	3	対象品目については、持込窓口への問合せ内容から見直しを行っている。普及啓発としては、チャットボット、広報たいとう、HPを活用している。							
	目的達成度	3	令和3年11月から事業を開始し、生活家電ごみ4,270kg、粗大ごみからピックアップした1,690kgと合わせ5,960kgを資源化し、令和2年度実績の2,090kgより増加した。区民の排出機会の拡大、粗大ごみ資源化の推進に資することができた。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
粗大ごみの排出量や申込件数は増加傾向が続いており、粗大ごみの資源化や区民の排出機会の拡大の必要性は高い。持込対象品目を拡大し、持込窓口の周知に努めることで、より一層、粗大ごみの減量、資源化を推進していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		集団回収支援				所管	環境清掃部 清掃リサイクル課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	238	計画事業名	集団回収支援	事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現				[事業開始] 平成 4 年度				
		[施策] 52 資源循環の促進				[終了予定] - 年度				
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区資源再利用運動実施要項					
	事業対象	直接の対象 : 資源再利用運動実践団体、台東リサイクル事業協同組合 最終的な対象 : 資源再利用運動実践団体								
	事業目的	資源再利用運動実践団体及び回収事業者に対する支援を行うことにより、区民の自主的なごみ減量を図り、資源の有効活用を促進する。								
	事業内容 [R3年度]	(1)資源再利用運動実践団体への支援 ①回収量実績に対し、6円/kgの報奨金の支払い ②作業補助用具(軍手、ビニールひも、エプロン、台車)の支給 ③感謝状贈呈 (2)台東リサイクル事業協同組合への支援 回収業者支援金(町会2円/kg、集合住宅1円/kg)、市況調整支援金(新聞1円/kg、雑誌3円/kg、段ボール3円/kg)								
委託の有無	一部委託		委託内容	集団回収管理システムソフト保守委託						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	集団回収登録団体	団体	516	471	484	492	494	99.6%	
		登録団体への報奨金	千円	28,992	28,546	26,250	25,530	28,410	89.9%	
	成果指標	集団回収量	t	4,832	4,693	4,324	4,165	4,735	88.0%	
		資源回収率	%	24.8	22.9	24.3	24.3	23.7	102.5%	
	決算額(単位:千円)				R1年度		R2年度		R3年度	
					40,728		44,626		48,064	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			8,407		9,496		13,682	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			4,829		4,539		9,470	
その他のコスト(扶助費・補助費など)			35,899		40,087		38,594			
総経費			49,135		54,122		61,746			
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			75		55		76		
	一般財源(区負担額)			49,060		54,067		61,670		
事業の課題	集団回収実施町会の高齢化に伴う活動の後継問題や、資源売払い市況の悪化等で回収業者の事業継続が困難になる可能性がある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	集団回収は回収量は区の資源回収量全体の3割強、古紙では5割強を占め、かつ費用対効果の高い回収方法である。この回収は区民の資源循環に対する意識の高さによって支えられており、地域のコミュニティの形成や、資源の持ち去り防止効果も期待できるため、支援する必要性は高い。							
	効率性	3	集団回収事業は、実践団体(主に町会やマンション)が回収業者と直接回収契約を結び、区は回収量に応じた報奨金を支払う仕組みとなっている。報奨金のコストは、直接区が回収する行政回収のコストと比較して低く抑えられるため、効率的な資源回収方法となっている。							
	手段の適切性	3	行政回収に比べ費用対効果が高く、質の高いリサイクルが期待できるだけでなく、リサイクル活動の啓発や地域のコミュニティ形成へとつながっている。しかし、実績報告の電子化やAI-OCRを活用した自動取込みの導入など、ICTの利活用に関して検討の余地がある。							
目的達成度	3	登録団体数は増加しているが、新聞購読の減少等の要因で回収量は減少している。一方で、町会の団体からは高齢化による後継不足が課題であるとの意見もあり、負担を軽減し回収を継続できるポイント型集団回収の移行を働きかけていくなど、安定した活動ができるように支援を行っていく。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
集団回収はごみの減量や資源の有効活用だけでなく、リサイクル活動啓発や地域のコミュニティの形成、持ち去り防止対策等、様々な効果がある。集団回収活動が継続的に実施できるように、ポイント型集団回収や事業継続加算金等の支援を引き続き実施しながら、地域の特性に応じた事業展開をしていく必要がある。また、ICTを活用した実績報告の電子化や報告書の自動読み取りによる効率化に関しても、検討を進めていく。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		事業系ごみの排出指導				所管	環境清掃部 台東清掃事務所			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	234	計画事業名	事業系ごみの排出指導			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現						[事業開始] 平成12年度		
		[施策] 51 ごみの発生抑制の促進						[終了予定] 年度		
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	東京都台東区廃棄物の処理及び再利用に関する条例、同規則					
	事業対象	直接の対象 : 事業用途に供する床面積が1,000㎡以上の事業用大規模建築物の所有者及び廃棄物管理責任者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	事業用大規模建築物に対して区が指導調査を行うことにより、事業系ごみの減量・資源化及び適正処理の推進を図る。								
	事業内容 [R3年度]	<ul style="list-style-type: none"> ・事業用大規模建築物の所有者から「再利用計画書」「廃棄物管理責任者届」を受理した。 ・事業用大規模建築物に対して、3年に1回程度の指導調査を行った。 ・廃棄物管理責任者を対象にごみの減量・資源化・適正処理に関する講習会を2回実施した。 								
委託の有無	なし		委託内容	なし						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	指導調査件数	件	120	129	140	51	120	42.5%	
		廃棄物管理責任者講習会の実施回数	回数	—	3	0	0	3	0.0%	
	成果指標	再利用計画書提出率	%	100.0	95.4	93.3	95.7	100.0	95.7%	
		講習会受講者数	人	130	110	0	197	130	151.5%	
	決算額 (単位:千円)				R1年度		R2年度		R3年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			149,576		164,818		156,061	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			267		500		285	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		0	
総経費			149,843		165,318		156,346			
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0		
	一般財源(区負担額)			149,843		165,318		156,346		
事業の課題	指導調査及び廃棄物管理責任者への指導により、事業系ごみの減量・資源化の推進に取り組んできた。事業の実効性を高めるためには、指導調査の対象を各テナントやフロアごとの確認まで拡大させる必要がある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	台東区から排出されるごみを減らしていくためには、区のごみ量の約5割を占める事業系ごみの減量・資源化・適正処理を推進していくことが不可欠である。							
	効率性	3	講習の際に再利用計画書の提出を廃棄物管理責任者に働きかけることで、効率的にごみの適正処理に関する意識啓発をすることができている。							
	手段の適切性	3	事業系ごみの減量等を推進するためには、ごみの適正処理に日々携わっている職員による指導調査や廃棄物管理責任者への意識啓発が最も効果的である。令和3年度は、講習会を書面受講方式により実施することで、事業手法の適正化を図った。							
	目的達成度	3	再利用計画書の提出がない事業者への複数回提出を依頼するなどの取組により、高い提出率となった。また、講習会は、事業手法の見直しにより、参加人数の増加と参加者の利便性を高めることができている。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		
令和3年度は、コロナ禍の状況で、指導調査数は制限されたが、再利用計画書の高い提出率の維持と事業手法の見直しにより講習会参加人数を増加させることができた。これからも事業系ごみの減量・資源化・適正処理を推進していくため、きめ細かな指導調査の実施や廃棄物管理責任者講習会を通して廃棄物管理責任者の意識啓発に努めるとともに、戸別収集の利点を活かし、通常のごみの収集時における丁寧な排出指導を行っていく。						維持				

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業名		ごみ収集作業				所管	環境清掃部 台東清掃事務所			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	233	計画事業名	集合住宅へのごみ排出抑制の促進		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現					[事業開始] 平成12年度			
		[施策] 51 ごみの発生抑制の促進					[終了予定] - 年度			
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	事業対象	直接の対象 : ごみを排出する区民、事業者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	ごみを収集し運搬することにより、まちの環境美化の向上を図る。また、ルールを守らない排出者に対して指導を行うことにより、ごみの減量と資源化の促進を図る。								
	事業内容 [R3年度]	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの収集・運搬 ・ごみ及び資源の排出指導 								
	委託の有無	一部委託	委託内容	粗大ごみ申告受付業務委託						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度		
					目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	区収集ごみ量実績		t	40,789	41,800	41,342	40,735	41,707	97.7%
	成果指標	区民一人一日あたりのごみ量		g	528	563	555	546	552	98.9%
	決算額 (単位:千円)					R1年度		R2年度		R3年度
						96,311		23,819		29,880
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				676,094		640,230		629,081
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				24,221		23,820		29,881
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0		0		0
		総経費				700,315		664,050		658,962
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				88,387		23,820		29,881	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				7,924		0		0	
	一般財源(区負担額)				604,004		640,230		629,081	
事業の課題	戸別収集による排出指導により、ごみの分別・排出ルールが徹底されてきているが、建物の保管場所にごみを出す集合住宅については、建物管理の状況により、ルールの徹底が不十分な案件もある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	区市町村は、その区域内のごみを生活環境の保全上支障が生じないようにごみの収集、運搬をする必要がある。							
	効率性	3	建物の更新、ごみの量及び質などの収集環境の変化に対応し、ごみの収集ルートや収集方法を随時見直すことで、収集作業の効率化を図っている。							
	手段の適切性	3	粗大ごみの収集、燃やさないごみの選別・資源化などの業務において、委託化を実施し、業務の効率化・適正化を図っている。また、区民、事業者へのごみの適正分別・適正処理に関する排出指導については、職員が丁寧に説明を行うことにより、適切にごみの減量やリサイクルを推進している。							
	目的達成度	3	戸別収集の実施により適正なごみの分別が推進されたことや、事業系ごみの収集について区収集から民間収集への移行が促進されたことにより、区収集ごみの減量・資源化が進んでいる。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
令和3年度は、集合住宅への適正なごみの分別・排出ルールの働きかけを行うとともに、戸別収集によるきめ細かな排出指導により、区収集ごみ量及び区民一人あたりのごみ量を減少させることができた。今後も区内の良質な生活環境を維持するため、戸別収集の利点を活かし、区民や事業者へ直接排出指導の働きかけを行うことにより、ごみの減量と資源化を進めていく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		